

1月 給食だより



令和6年度
1月号

毎月 19 日は食育の日

朝霞市学校給食センター

朝霞第四小学校・朝霞第五小学校・朝霞第八小学校

1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷



学校給食の起源は、明治22（1889）年にさかのぼります。山形県の大督寺というお寺の中にあった小学校で、お弁当を持ってこれない子どもたちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。

その後、全国へと広がった給食ですが、戦争による食料不足などの影響で中断されてしまいます。

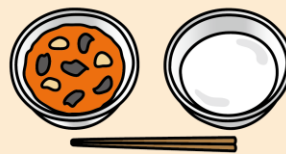
戦争が終わっても、食料不足は続き、子どもの栄養状態が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高まりました。

そして昭和22年1月、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）から送られた物資を使い、給食が再開したのです。

物資の贈呈式は昭和21年12月24日に行われましたが、冬休みと重なるため、1月24日~30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



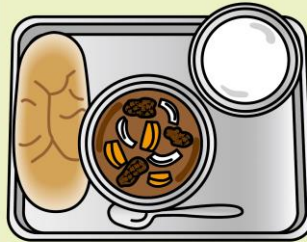
昭和22年ごろの給食



トマトシチュー・ミルク

脱脂粉乳や缶詰などの物資を使って給食が作られました。

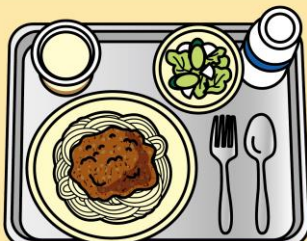
昭和25年ごろの給食



コッペパン・ミルク・カレーシチュー

アメリカから奇贈された小麦粉を使って、パン・ミルク・おかずの完全給食が始まりました。

昭和40年代ごろの給食



ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

パンに加えめん類も出るようになりました。脱脂粉乳は牛乳へと切り替わりました。

昭和50年代ごろの給食



カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

昭和51年に米飯が正式に導入され、献立の内容も豊かになっていきました。



そして、現代… 給食は食育の教科書に！

昭和29年に「学校給食法」が成立し、学校給食は教育活動として位置づけられるようになりました。さらに、食育の推進を図る観点から、平成17年に「食育基本法」が成立、平成20年に「学校給食法」が大幅に改正されました。

現在、学校給食は栄養補給のためだけではなく、「食育の教材」としての役割を担っています。朝霞市でも、給食を教材としてさまざまな食に関する指導が実施されています。

小学校1年生：学級活動「きゅうしょくが できるまでを しよう」

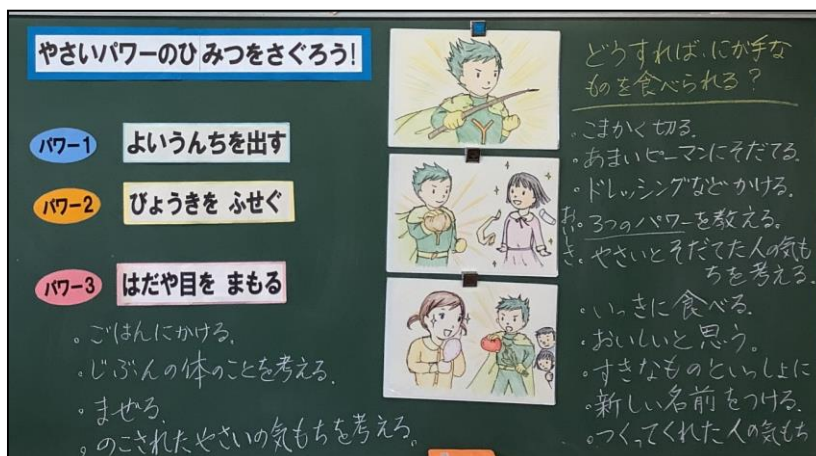


給食ができるまでには、数えきれないほどの人たちが関わっていること、たくさんの苦労があること、大切ないのちをもらっていることを知りました。

自分たちにできることとして、

- ・苦手なものは先に食べる
- ・クラスの力を合わせる
- などの工夫を考えました。

小学校2年生：学級活動「やさいパワーのひみつをさぐろう」



「給食には、なんで毎日野菜がたくさん出るんだろう？」・その理由＝野菜パワーのひみつをみんなで探りました。授業後の野菜日記では、「苦手な野菜も食べられた！」という児童がたくさんいました。